

講演

# たがいに新潟 どすこい小須戸

## —政令市に向かってわがまちの未来—



運動会、展覧会も大成功!!

来年春、新潟市が政令市になります。これからは将来の理想的な地域づくりの意識を高めて、イメージを持つことだと思います。

今、新潟市の方で、考へるイメージをあげると、日本海政令市、田園型政令市、分権型政令市があり、どういったふうに特徴があるかや自分の町にどんな取柄があるのか調べてみることです。

例えば新津小台地域やウデコキ地域の花と緑のイメージを伸ばしていくければ、周りの政令市に無い新潟市独特の、素敵な場所になると思います。

厚生労働省が九月に二〇〇六年度版の厚生労働白書を公表しました。これは私も耳が痛いのですが、簡潔にいえば、アザレア、ボケ、シャクナゲが全

く伸びていて、じやあ何をしなければならないか?まず、自分の町を知ること。自分の町がつた中で、じやあ何をすればいいか?まず、自分が調べてみることです。

幸い心強いのは、小須戸の方々は自分達の楽しみを持つことを喜びとしてわりと小さいながらも地域活動や公民館活動などもやっているので、地域にはいい人達もいっぱいいます。

ついでに、このままでは困った時だけ頼るのではなく、今のうちから助けたり助け合ったりしながらやつてみたい。そういうふうに思っています。

つまり國の考えるこれからの将来像は、昭和三十年代の地域社会、隣近所から足りない

### 理想的な将来像とは

講師 新潟日報整理部長  
阿達 秀昭さん(矢代田)

	旧小須戸町	新・新潟市
人口	10,500人 (1.3%)	81万人
面積	17km <sup>2</sup>	726km <sup>2</sup>
小学校数	2校	115校
中学校数	1校	59校
年間予算 (2年前)	49億円	3,070億円 (63倍)

旧小須戸町と新・新潟市との比較(講演より)

### 自分の町を知ろう

このテーマである「たがいにいがた」とは新・新潟市の全ての地域がお互いの長所を認め合い、互いに地域の絆を深めようということです。

「どすこい、こすど」の方

は、八十一万人という大きな政令市の中でも「どすこい、小須戸は、みんなで元気を出して、ぶつかつていこうよ」という意味合いを込めてテー

マにしました。

今は、八十一万人という大きな政令市の中でも「どすこい、小須戸は、みんなで元気を出して、ぶつかつていこうよ」という意味合いを込めてテー

マにしました。

今は、八十一万人とい

う意味合いを込めてテー

マにしました。

今は、八十一万人とい

う意味合いを込めてテー

マにしました。

今は、八十一万人とい

う意味合いを込めてテー

マにしました。

今は、八十一万人とい

### 「夏のおもいで(詩)」

### さよことと言

みんなで、いつしょくんめい練習しました。

すつごくいい曲です。

たような人間関係や地域づくりを真似るんではなくて、今

のまんまいところだけ取り残し、守つてもらえればと思つています。

それと、お節介おじさんやお節介おばさんになつて、地域の子どもが悪い子だつたら、叱つてやる。単純な話だと思います。

今やつぱり、怒らなかつたおかげを分け合つたり、すれ違えればあいさつや井戸端会議をする。いわゆる顔の見え

りを真似るんではなくて、今

### 香山リカ講演会のお知らせ

残り100名を切りました。お早めに!!

当日、席の余裕がある場合は「申し込み無し」でもどうぞ。

テーマ:「ストレスに負けず、元気に生きる」

日時 12月16日(土) PM1:30~3:00

会場 小須戸地区公民館3階ホール 入場無料

●申し込み方法  
住所、氏名、電話番号、イベント名を明記の上、往復ハガキでお申し込み下さい。  
・はがき1枚につき2名まで招待いたします。  
・定員を超えた場合は抽選になります。

●応募締切り  
11月20日(土)必着先着300名  
問い合わせ・申し込み先  
〒956-0101 新潟市小須戸117  
小須戸地区公民館

香山リカ(Kayama Rika)プロフィール  
(精神科医・帝塚山学院大学人間文化学部人間学科教授)  
1960年7月1日北海道札幌市生まれ。東京医科大学卒。学生時代より雑誌等に寄稿。その後も臨床経験を重ねて、新聞、雑誌で社会批判、文化批判、書評などを多く受け、現代人の「心の病」について洞察を続けている。専門は精神病理学だが、テレビゲームなどのサブカルチャーにも関心を持つ。  
■主な著作:『単行本・親書』  
『14歳の心理学』(学研出版)☆最新刊☆『老後がこわい』(講談社現代新書)



「精一杯走りたいと思います」

十一月十二日に福井県で行われる、スパーレディース駅伝大会の県代表として中学生区間に小須戸中学校二年、大野仁子(松ヶ丘)選手が選抜されました。

催し物ご案内

### 中学生女子、東日本駅伝出場!!

開催間近!! 残り100名を切りました。お早めに!!

当日、席の余裕がある場合は「申し込み無し」でもどうぞ。

テーマ:「ストレスに負けず、元気に生きる」

日時 12月16日(土) PM1:30~3:00

会場 小須戸地区公民館3階ホール 入場無料

●申し込み方法  
住所、氏名、電話番号、イベント名を明記の上、往復ハガキでお申し込み下さい。  
・はがき1枚につき2名まで招待いたします。  
・定員を超えた場合は抽選になります。

●応募締切り  
11月20日(土)必着先着300名  
問い合わせ・申し込み先  
〒956-0101 新潟市小須戸117  
小須戸地区公民館

香山リカ(Kayama Rika)プロフィール  
(精神科医・帝塚山学院大学人間文化学部人間学科教授)  
1960年7月1日北海道札幌市生まれ。東京医科大学卒。学生時代より雑誌等に寄稿。その後も臨床経験を重ねて、新聞、雑誌で社会批判、文化批判、書評などを多く受け、現代人の「心の病」について洞察を続けている。専門は精神病理学だが、テレビゲームなどのサブカルチャーにも関心を持つ。  
■主な著作:『単行本・親書』  
『14歳の心理学』(学研出版)☆最新刊☆『老後がこわい』(講談社現代新書)

お知らせ  
●11月20日(土)必着先着300名  
問い合わせ・申し込み先  
〒956-0101 新潟市小須戸117  
小須戸地区公民館

●今後の講演会で、阿達先生が話された新潟五区エリアにおける「合併を活かした将来展望」のアイデアを次号からコラム形式で三回にわたって紹介していきたいと思います。

●今やつぱり、怒らなかつたおかげを分け合つたり、すれ違えればあいさつや井戸端会議をする。いわゆる顔の見え

りを真似るんではなくて、今

のまんまいところだけ取り残し、守つてもらえればと思つています。

それと、お節介おじさんやお節介おばさんになつて、地域の子どもが悪い子だつたら、叱つてやる。単純な話だと思います。

今やつぱり、怒らなかつたおかげを分け合つたり、すれ違えればあいさつや井戸端会議をする。いわゆる顔の見え

りを真似るんではなくて、今

のまんまいところだけ取り残し、守つてもらえればと思つています。

それと、お節介おじさんやお節介おばさんになつて、地域の子どもが悪い子だつたら、叱つてやる。単純な話だと思います。

